

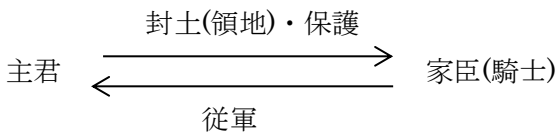
# 封建社会の成立

- ・民族大移動による混乱で商業都市の衰え
- 自給自足が基本の農業経済に(貨幣<土地、現物)
- ・外敵の侵入(ノルマン人、イスラム人、スラヴ人、アヴァール人、マジャール人)から身を守る

↓

( )の成立  
 [ ( )を経済的基盤 7、8c 頃から  
 封建的主従関係 11c 頃

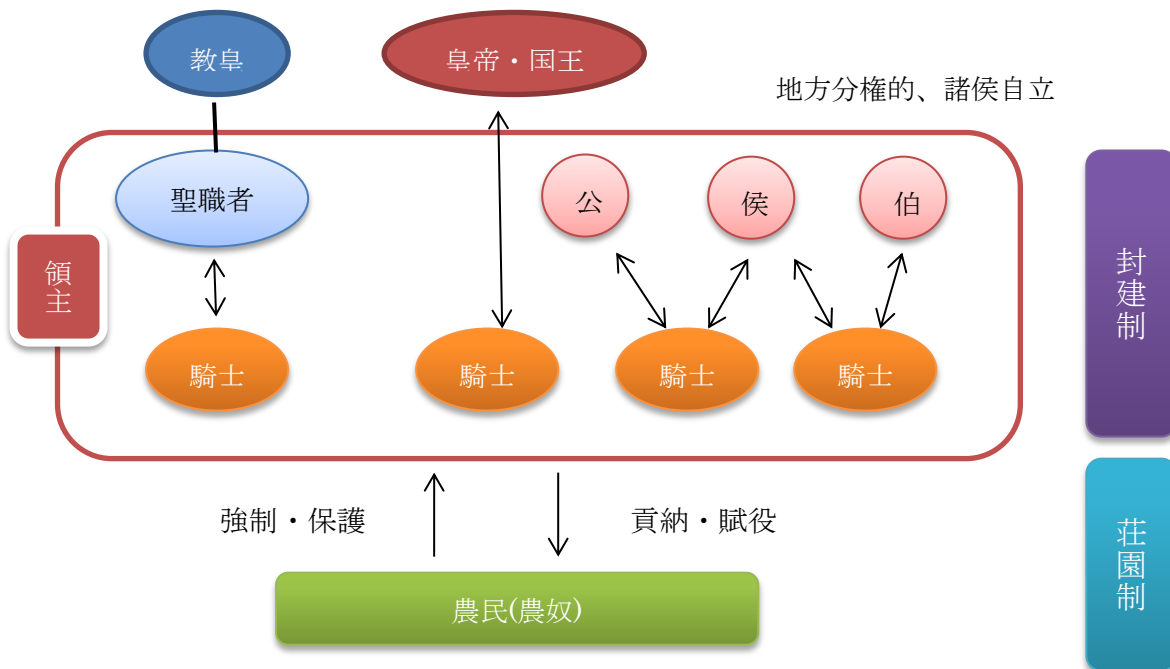
## ① 封建的主従関係



\* 騎士道物語  
騎士道精神

\*特徴

- ・双務的契約 (どちらからでも契約破棄可能)
- ・複数臣従制 (一人で多くの主君をもてる)
- ・起源は古代ローマの( )とゲルマンの( )



## ② 荘園

- ・( )…賦役と貢納の義務
- 移動の自由なし
- 結婚税、死亡税→領主へ

- ・領主…( )…(国王の役人の荘園の立ち入り、課税を拒む)
- ( )…(領地の法で農奴を裁く)

荘園内

- ・領主直営地…農奴が労働 = 賦役
- ・農民保有地…地代(作物)を領主に = 貢納
- ・共同利用地…牧草地、森林など

- ・( )…春耕地、秋耕地、休耕地として3年で一巡する農法
- ・( )荘園…直営地と保有地から成る
- ・( )荘園…直営地を農民に貸し与え、全て農民保有地に  
賦役の義務はなくなり生産物地代に  
→13、14cには貨幣地代  
→農民の地位向上

